（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス　クリッピン			
○保護者評価実施期間	2026年　10月　29日	～	2026年　11月　11日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	21名	（回答者数）	15名
○従業者評価実施期間	2026年　10月　29日	～	2026年　11月　4日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	8名	（回答者数）	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　11月　20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様たちが毎日の通所を楽しみにしている。	机上課題等では、見本を用意し、視覚的にわかりやすくしている。 また、発達段階や興味・関心に合わせ、活動内容がワンパターン化しないよう努め、様々な経験ができるよう工夫している。 加えて、季節やイベントに合わせ療育室内の壁画をお子様と共に作成している。	もっと季節感のある行事等を、お子様たちが企画・運営できるよう、その仕組みを模索している。
2	お子様の個性と保護者様のニーズや課題が客観的に分析し、個別支援計画を作成している。	お子様の特性等に応じた専門性(作業療法士・言語聴覚士・ベテラン)のある支援を、日々検討して実践している。 また、保護者様から学校やご家庭でのご様子も都度伺い、より詳しい情報収集に努めている。	今以上に、病院や関係機関(卒業した保育園・幼稚園等)と情報共有をしていき、様々な専門的な助言や意見を取り込んでいけるよう努めたい。
3	特に、お子様お一人おひとりの課題を日々の打合せの中から抽出し、そこに対して個別療育等でピンポイントにアプローチしている。	モニタリングを通して、スタッフ全員での情報共有には特段注力しており、個別療育の質の向上及び均一化を図っている。	アルバイト・パートの勤務時間に左右されるが、今以上にスタッフ全員で会議やモニタリングに参加できるようスケジュール調整に努めたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がない。	送迎時などに児童クラブ等のスタッフと挨拶程度の関りしかない。 当事業所がオープンしてからまだ間もないため、施設内の業務に追われ、他施設との交流を企画・準備・運営する時間が確保できない。	長期休みなどのイベント交流の実行目標時期を決め、実施に向けて早い段階から他施設との日程調整や企画・準備を進めていく。
2	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者様同士で交流する機会を設けられていない。	保護者同士の交流については、日程調整や参加の可否など、各家庭の状況によって参加のしやすさが異なる。また、保護者が交流することに対しての考え方や受け止め方にも違いがあるため、開催することが適切か、どこまでニーズがあるのか等を含め、慎重に検討する余地がある。	会を催すにしても、日常業務外でどのように準備等を進めていくかも重要になってくる。他の意見として、親子参画型の行事を行い、交流という面からアプローチしていってもよいかもしれない。 ex. ハイキング、Day Camp等
3	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、弊社での支援内容等の情報を提供する等の機会がない。	現時点で、卒業生もおらず、また障害福祉サービス事業所等へ移行された方もいないため、情報提供を行う機会がない。	今後、該当するケースが生じた際には、必要に応じて関係機関と連携し、情報提供を行っていく。